

*Nottingham Analogue Studio*  
*Interspace SE*

**OWNERS MANUAL**

この度は、Interspace SE をお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
Interspace SE は、家庭でも、そしてプロのフィールドにおいても  
長くご使用頂けるようデザインされております。適切なサービスと  
素晴らしい音楽をご提供するために、しばらくの間、本マニュアル  
をお読み頂き、長年に渡り本製品の十分なパフォーマンスをお楽しみ  
頂ければ幸いです。

Yoshino Trading Ltd.  
49-1 Kamidaito Mizutake Gamagori, Aichi Japan 443-0005

Tel: 050-3375-3975 Fax: 03-4333-0399

E-mail: [info@yoshinotrading.com](mailto:info@yoshinotrading.com)

<http://www.yoshinotrading.jp>

## はじめに

- 1) サービスパーツは付属されておられません。
- 2) いかなる状況下においてもカバーやネジ類をキャビネットから取り外さないで下さい。
- 3) アフターサービスについては、全て専門のサービスマンに依頼して下さい。
- 4) 「Interspace SE」の素晴らしい性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくためにも、お使いになる前にこの取扱説明書と安全上のご注意を必ずお読み下さい。お読みになった後は保証書と共に大切に保管して下さい。
- 5) 将来、引っ越しや修理の為に輸送する必要があるかもしれませんので、専用の梱包箱は必ず保管して下さい。

「Interspace SE」は、トラブルフリーのパフォーマンスを得られるよう設計・製造されましたが、安全上いくつかの注意が必要となります。

- ◎ 電源コードやその他ケーブル類の上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
- ◎ キャンドル等の、炎のあるものを本機の上に載せないでください。
- ◎ 静電気など外部からの影響により、動作に問題が生じた場合は、電源コードを一度コンセントから抜いてから再度差し込むことで、正常に動作することがあります。
- ◎ 湿度の高い場所や水場の近くで使用しないでください。また、内部に液体や湿気のあるものを入れしないでください。万一内部に液体が入った場合は、すぐに本体の電源を切りプラグを抜き、お買い上げ店またはサービス窓口までご相談ください。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。


ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。


お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ■危害・損害の程度とその表示

記載内容を無視した誤った使い方によって生じる程度を「警告」、「注意」に分類しています。

安全上、重要な内容ですので、必ずお守りください。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>警告</b>	

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性や、物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	

### **警告 設置・使用場所に関する警告**

- 湿度の極端に高い場所や、雨等で本体を濡らす可能性がある場所には設置・使用をしないでください。感電・火災の原因となります。
- 火気のある場所や油飛びする場所、湯気があたる場所には設置・使用をしないでください。感電・火災の原因となります。
- 振動のある場所や安定性の悪い場所には設置・使用をしないでください。落下・転倒による怪我の原因となります。

### **警告 使用に関する警告**

- 本機のパネル（キャビネット）を取り外さないでください。内部には高電圧のかかった場所がありますので、不用意に手を触れますと感電します（電源を切っていても、電気が溜まっている場所があります）。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しないでください。誤って雨などによって多量の水分が本体にかかった時、飲料など多量の水分を本体にこぼした時には、電源を入れしないでください。すでに使用中の場合は、直ちに電源を切ってください。また濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電・火災の原因となります。
- 機器に異常を感じたり、故障が生じた時には電源を入れしないでください。すでに使用中の場合は、直ちに電源を切ってください。感電・火災の原因となります。
- 電源コードや電源プラグを破損した時には、電源を入れしないでください。使用中に音が出なくなったり、異常な臭いや煙が出たりした場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災または故障のおそれがあります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

- 本機内に異物が入った時には、電源を入れないでください。  
すでに使用中の場合は、直ちに電源を切ってください。感電・火災の原因となります。
- 本機が発火したり、発煙したりした時には、直ちに電源を切ってください。感電・火災の原因となります。
- 本機は日本国内の AC100 ボルト電源専用です。AC100V 以外の電源を使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取ってください。  
感電やショートのおそれがあります。
- 本機の電源プラグはアース付きの 3 芯仕様です。必ずアースを取って使用してください。
- 長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。
- 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、電源コードや電源プラグの上に重いものを載せたりしないでください。感電・火災の原因となります。
- (電源コード/プラグが本体脱着式の場合) 電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用してください。他の電源コード/プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。
- 本機を分解・改造しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 本体の上にもろそくなど火気のあるものを置かないでください。  
もろそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 本機の電源を、いわゆるタコ足配線された電源コンセントなどから取らないでください。  
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因となることがあります。また、電源タップから電源を取る場合には、電源タップにつながれたすべての電気製品の消費電力容量を超えないようにしてください。感電・火災の原因となることがあります。
- 本機を長期間使用しない場合には、電源コードを電源コンセントから抜いてください。  
感電・火災の原因となることがあります。
- 本機や電源プラグを、濡れた手で触れないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 本機の内部に手や物を入れないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 本機に規格以上の電源フューズを取り付けしないでください。感電・火災の原因となることがあります。

### **注意 使用に関する注意**

- 本機をほこりの多い場所や、高周波を発生する機器(テレビ、ラジオ、パソコン等)の近くで使用しないでください。
- 本機の電源プラグを電源コンセントから抜き差しする際には、電源コードを持たずに、必ずプラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機を移動する時には、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 長時間の大音量での使用は聴力に悪影響を与えることがあります。耳に異常を感じたら、専門の医師にご相談ください。

## セットアップ&アッセンブリー

セットアップを始める前に、ご使用されるラック等の表面が水平が取れ、ターンテーブルの重さに耐えられるほどの強固な表面であることを確認ください。

### STEP1

**モーターセットアップ** モータースピンドルの上にプーリーを優しく押し込み取り付けてください。

このとき、角度をつけて差し込まず、必ず真っ直ぐ中心を押して差し込んでください。モーターの下側を支えて行くと差し込みやすくなります。(Photo 1)

プーリーは中心を通るように差し込んでください。

注意してプーリーをベースボードに通します。



PHOTO 1

モーターベース

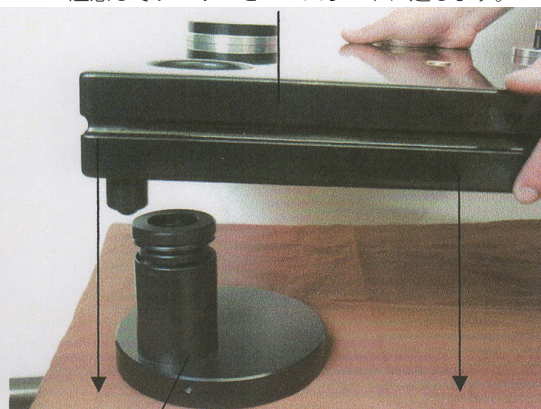


PHOTO 2

モーターベースポジション

### STEP2

モーターベースのポジションを決め(Photo 2)、プーリーが接触しないように注意しながらモーターユニットをベースボードの穴に通します。また、フロント左脚とモーターベースが接触しないように設置します。(Photo 3)

### STEP3

水平な表面の上にベースボードを設置してください。必要に応じて4つのアジャスタブルフィートを使用して水平をとってください。付属で水準器がついています。

### STEP4

キャップの2分の1のオイル(0.5ml)をベアリングの穴に注いでください。付属のピペットを使用すると簡単にできます。(Photo 4)

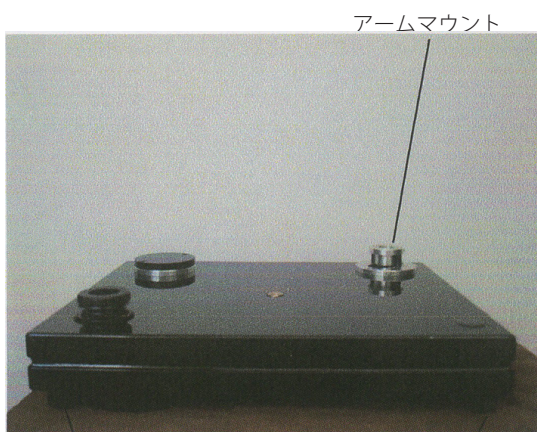


PHOTO 3

アジャスタブルフィート (フロント&リア)

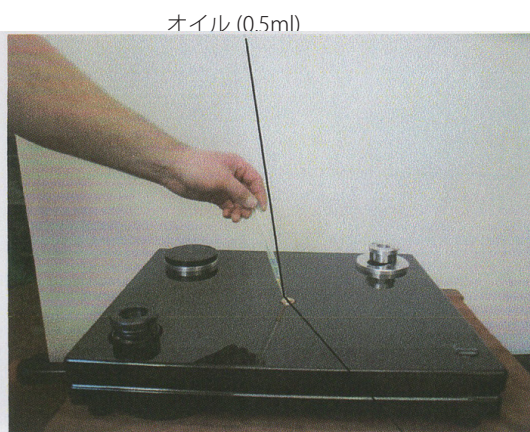


PHOTO 4

ベアリングウェル

## STEP5

プラッターアッセンブリーをベアリングの穴に差し込んでください。(Photo 5)

## STEP6

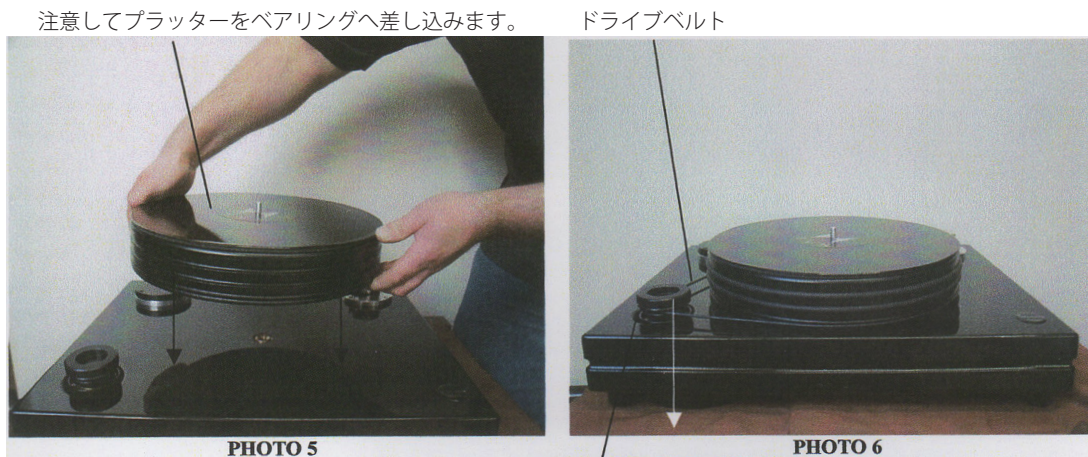
2つのダンピングリング(プラッターベルト)をプラッターの上部2つの溝に回し掛けてください。さらにプラッター下部の溝にドライブベルトを掛けて下さい。プラッターの溝をプーリーの溝が同じ高さになるようにしてください。モーターユニットがプリンズ内で上下に動きますので、ここで一直線になるように調整してください。

**この調整をするときに、絶対にプーリーを押さえつけないで、モーターユニットの外側のみを使って調整してください。プーリーを押さえつけると、モーターのスピンドルのダメージを引き起こす可能性があります。このポジションからモーターを押し戻す事はできません。(Photo 6)**

万一、モーターを押し下げ過ぎてしまった場合は、ドライブベルトの正確なアライメントが取れませんので、Step 1に戻ってやり直して下さい。

ドライブベルトの位置 上の溝:45rpm、下の溝 33.3rpm

モーターのバイブレーションを避けるため、モーターユニットがベースボードの穴の中心に位置し、尚且つベースボードにどこも接触していないかどうかをチェックして下さい。



ドライブベルトの溝がプーリーの溝と並行になるようにモーターのエッジを使って押し下げます。プーリーを押さないで下さい。

## STEP7

アームセットアップ。(P 7、8 参照)

### ターンテーブルのための追加インフォメーション

ツール袋の中に2つの小さなフォームウェッジ(くさび)が入っています。これらは、アームセットアップ時にプラッターが動かないためのものです。単にベアリングから少しプラッターを持ち上げ、その間にこれらのウェッジを差し込んでください。ウェッジの上にプラッターを載せ、アームのセットアップをしてください。(アームのセットアップをする前にプラッターがベアリングにしっかりと固定していることを確認してください。)アームのセットアップが終了しましたらフォームウェッジを外してください。そして、次回使用するためにも保管してください。(Photo 7)

### ノッティンガムターンテーブルのメンテナンスおよび取扱注意事項

- スピンドルとベアリングが落ち着くまでに、最初の数時間はランニング時間となります。
- オイルの交換は、2年ごとをお勧めします。プラッターを上げて、ティッシュペーパーなどを使用して、古いオイルを除去してください。そしてSTEP 3,4を繰り返してください。
- ドライブベルトやダンピングリングは定期的に薄めた中性洗剤で洗ってください。また自然乾燥させてください。
- ターンテーブルのクリーニングには、糸くずのない柔らかい布がベストです。磨き材を使用しないでください。使用しない時は、ターンテーブルの上に布などでカバーしてホコリよけしていただいても良いでしょう。
- 使用しない時にモーターの電源はオンのままにしておいてもモーターに負荷はほとんどありません。しかしながら、使用しない時は、プラッターは停止した状態にしてください。
- 尚、長時間ご使用にならない時は、スイッチをお切り下さい。
- 使用しない時は、プラッターの上にダストカバーを載せてください。
- ターンテーブルのアースを取る場合は、4mmバナナプラグを用意し底面のベアリングハウジングと接続してください。(コネクタとケーブルは付属されていません。)

ご質問がありましたら、ノッティンガムアナログディーラーにお問い合わせください。

フォームウェッジ (くさび)

完成!



PHOTO 7



PHOTO 8

モーターが穴の中心にあることを確認して下さい。

## アームセットアップ

### STEP1

アームをターンテーブルに設置する前に、カートリッジをヘッドシェルに取り付けて、カートリッジタグを接続しておいてください。

### STEP2

フォノプラグ/ケーブルとアームのポールの部分をアームマウントホールに差し込んでください。このとき、ベースプリンス(ベースボード)にキズを付けないようにしてください。(Photo A)

### STEP3

アームチューブをレコードと平行になるように調整してください。(Photo B)

**アームセット時に、アームリフトと下のハンドルがダウンポジションにあることを確認してください。**

アームのポジションを確保するために、アームマウントコレットを2つのイモネジで優しく締めてください。

### STEP4

**スタイラスアライメント** スタイラスアライメントゲージのインストラクションを参照ください。アームピボットとアライメントゲージの矢印を合わせるためにも、定規や何かまっすぐな物を使用するとやりやすいでしょう。(Photo Cを参照ください。)

アライメントがとれたら、次のステップのために、アライメントゲージを取り除いてください。

### STEP5

**ウェイト調整** お好みのスタイラスフォーススケールをご使用ください。カートリッジ製造メーカーが推奨するウェイトをセットしてください。ウェイト調整には、アームリア部にあるブロンズウェイトをホルダー内で前後にスライドさせて調整します。ホルダーは常に角度をつけずに真下にあるようにしてください。(Photo D)

### STEP6

**バイアス調整** バイアスはあなたの耳で調整してください。しかしながら、ラフガイドとして、レコードの溝のランアウト(内周の溝が無い部分)でアームをおとしてください。もし、早く前方や後方に動くようでしたら、バイアスは徐々に調整していかなければなりません。それには、アームのバイアスレバーについているウェイトを上下に動かして調整してください。

注意:カートリッジアライメントができない場合、アームマウントポジションを調整する必要があるかもしれません。

### スタイラスアライメントインストラクション

- 1)カートリッジが装着された状態でトーンアームをセットして下さい。
- 2)プラッターにレコードを載せ、レコードの上にスタイラスアライメントゲージを載せます。
- 3)トーンアームのアーム部分をプラッターと並行にし、スタイラスアライメントゲージの矢印をトーンアームのピボット(支点)へ向けます。

- 4) トーンアームをスイングさせ、針先がスタイラスアライメントゲージ上のブロックグリッド中心に記されたドット上に来るようにし、カートリッジのボディがスタイラスゲージのブロックのラインと並行になるようにします。
- 5) カートリッジが正規ポジションに合わない場合は、アームベースを調整し、3)からの工程を繰り返します。

アームマウントコレット

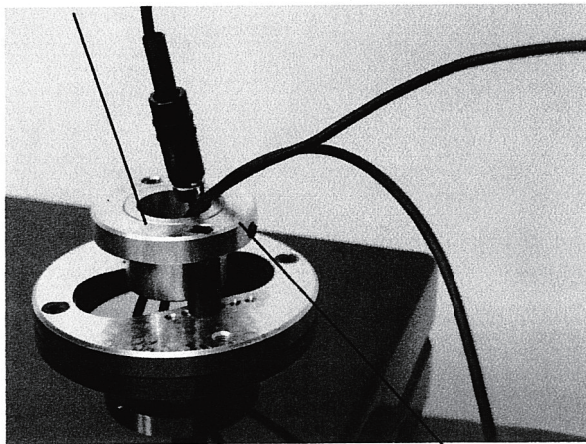


PHOTO A

いもねじx2

アームチューブをプラッターと平行に

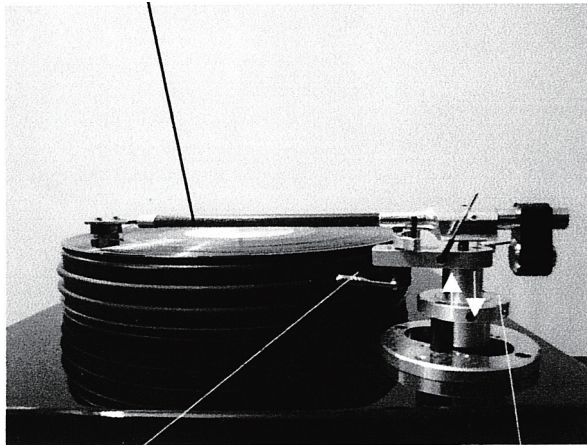


PHOTO B

アームリフト/ローワーレバー

アームアップダウン調整

定規/矢印とピボットポイントを一直線上に

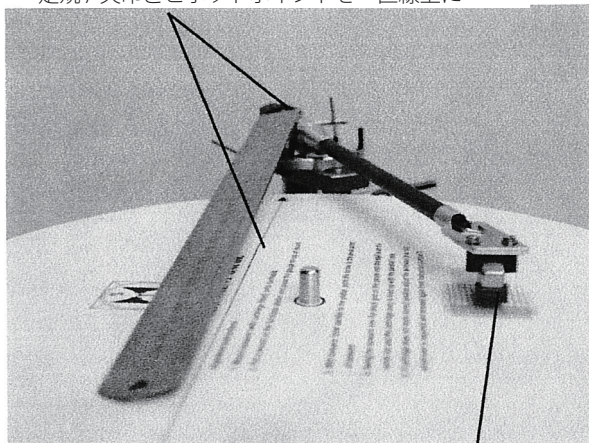


PHOTO C

スタイラス調整

バイアスウェイト調整      ウェイト/ホルダー調整

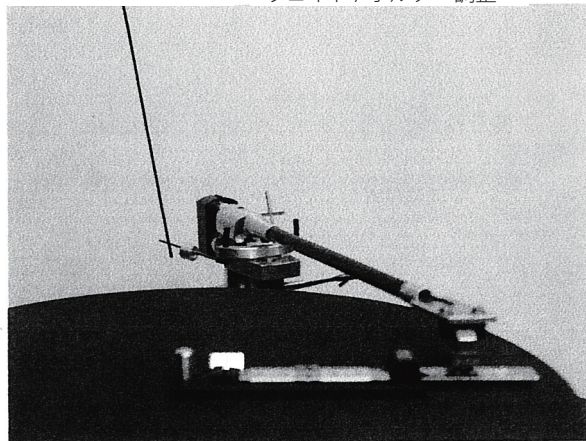


PHOTO D



アームセットアップと調整完了!

何かで質問がありましたら、何なりとお買い上げの販売店もしくは当社までご連絡下さい。